

## 大学入試の基礎知識 vol.16 【世の中の動きと大学入試】

時に「象牙の塔」などと言われ、世間とは隔絶された世界だと揶揄される大学。(一般大学生とは違い、特に研究室などのことを指す場合が多いのですけどね。)そんな大学ですが、実は入試においては世の中の動きに大きく左右されることもあります。

### 人口の変化による影響

保護者世代である50歳の人たちが受験生だった1992年、高校3年生18歳の人口は205万人でした。だから大学受験は楽になったかというそう単純な話でもありません。約35%だった現役志願率が60%を超えてきているので受験生の数はイメージするほど減ってはいません。しかし大学の数は500校から800校へ大幅に増加しています。有名大学や難関大学への受験は変わらず厳しい戦いが続き、全体で見ると大学には入りやすくなっているといったところでしょうか。



### 経済状況による影響

景気が良くなったり悪くなったりすると人気のある学部が変化します。景気が低迷しているときには私立大学よりも国公立大学の受験者が増えます。これは授業料が安いからですね。また文系より理系が人気になります。文系に比べて就職が強いと言われているからです。また医学部、薬学部、看護系など医療系と言われる学部の志願者も増えます。

経済状況がよく就職環境も好調だった2010年代は社会科学系を中心とした文系学部が人気で、医療系の志願者が減っていました。また、インバウンド拡大を期待した国際系の学部にも人気が集まっていたね。

それがコロナ禍では一転して国際系の学部は人気がなくなりました。

最近ではデータサイエンスなど情報系の学部の新設が相次いでいて、人気を博しています。

### 社会課題による影響

さて、大学にはいろいろな学部がありますが、何種類の学部があるでしょうか？2023年に募集がある学部の種類は、なんと600です！保護者世代が受験をした時代、1990年度には約100種類でしたか。30年、1世代の間に6倍にもなったということですね。

近年、設置された学部や学科には、「コミュニケーション」「マネジメント」「グローバル」「こども」といった、かな・カタカナまじりの学部・学科も多いようです。名称を見ただけでは具体的な学問内容が分かりにくい学部もあります。また世界トップクラスのスピードで進む社会課題、高齢社会に関して、「健康・福祉」「医療・看護」といった分野の学問を学ぶ学部・学科が充実してきています。あるいは、ビッグデータ、人工知能、IoTなど情報化社会に沿った情報系の学部、グローバル化など国際系学部、地球温暖化などを研究する環境系の学部など最近の社会課題に対応した学部・学科の新設も続いていて、受験生の関心を集めています。

